

米販売動向調査について（全米販）（令和4年3月分）

1. 回答数 61 会員

2. 調査結果概要

Q1：昨年3月と比べた令和4年3月（1か月）の米販売量

「変わらない」、「やや減った」の回答を合わせると約5割を占めた。

Q3：3か月前（令和3年12月）と比べた販売動向

「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答数が「やや良くなっている」、「良くなっている」の回答数を上回り、DI値は「45.5」と「50」をやや下回る。

Q5：3か月先（令和4年6月頃）の見通し

「変わらない」の回答が約5割あるものの、「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答数を「やや良くなる」、「良くなる」の回答数が上回り、DI値は「57.8」。3か月先の見通しDIが約60となるのは平成26年4月以来。

3. 集計結果

Q1：昨年3月と比べた令和4年3月（1か月）の米販売量

回答者数（会員）					
合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
61	7	11	15	15	13
100.0%	11.5%	18.0%	24.6%	24.6%	21.3%

Q3：3か月前（3年12月）と比べた販売動向

回答者数（会員）					
合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
61	5	12	22	11	11
100.0%	8.2%	19.7%	36.1%	18.0%	18.0%

DI値
45.5

(参考) 規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
54.5	48.9	39.3

Q5：3か月先（4年6月頃）の見通し

回答者数（会員）					
合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
61	1	24	30	5	1
100.0%	1.6%	39.3%	49.2%	8.2%	1.6%

DI値
57.8

(参考) 規模別 DI値		
規模A	規模B	規模C
59.1	60.2	55.4

※企業規模について

規模A：米穀の売上高が年間100億円以上、規模B：米穀の売上高が年間25億円以上～100億円未満

規模C：米穀の売上高が年間25億円未満

～主な回答理由～

Q1：現在（4年3月）の米販売量（前年同月との比較）

1. コロナウイルス感染症拡大による影響（学校・職場の休校・休業）で施設向けの販売が減少した。
2. 在庫が多いため卸間売買は買い手市場となっており、対前年同月比で販売は減少。
3. 業務用は少しづつ戻ってきているが、コロナ前の水準には戻っていない。

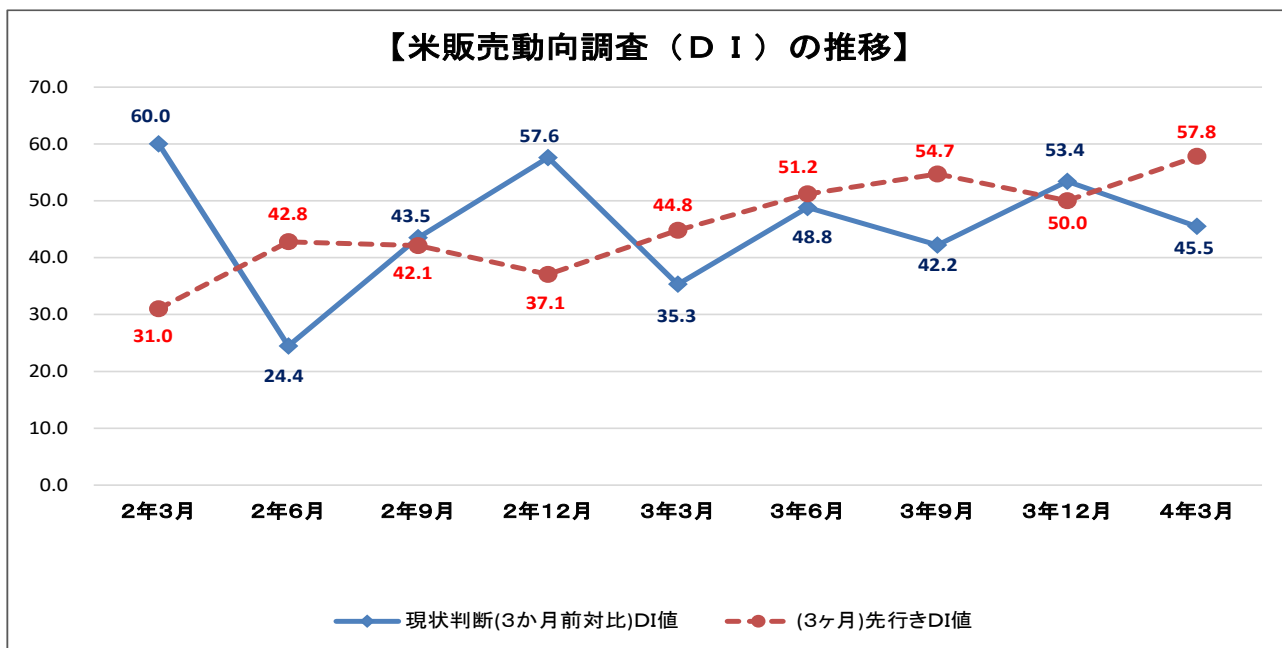
Q3：過去（3か月前）と現在の動き

1. 年明け以降、新型コロナウイルス感染者の急激な増加により、回復基調にあった外食が再び落ち込んだ。
2. 業務用は需要に底打ち感が出てきた。
3. 縁故米の減少と、食品全般の値上げにより、精米の需要が増えたと感じる。

Q5：将来（3か月後）の動き

1. 量販店用はコロナの状況に左右されにくくなっている為、それほど変化は見られないと予想。
2. 卸間売買は、出来秋まで荷物を抑えていない所の購入意欲が増してくるので、価格は少しづつ上向くと予想。
3. 新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、外食・中食用の需要は変化するが、量販店用は大きく変わらないと考えている。
4. ガソリン代の高騰により外出を控え、業務用が伸びないことを懸念。

【米販売動向調査（DI）の推移】



Q2：昨年3月と比べた令和4年3月（1か月）の米販売量

<仕向先別>	合計	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
(小売店向け)		%	%	%	%	%
大手スーパー	100%	10.0	25.0	22.5	25.0	17.5
中小スーパー	100%	5.6	22.2	29.6	27.8	14.8
米穀専門店	100%	1.8	3.6	32.1	28.6	33.9
その他	100%	12.8	10.6	23.4	23.4	29.8
(外食産業向け)						
外食向け	100%	9.8	21.6	23.5	29.4	15.7
中食向け	100%	7.3	25.5	38.2	20.0	9.1
給食向け	100%	1.9	11.1	57.4	24.1	5.6

Q4：3か月前（令和3年12月）と比べた販売動向

<仕向先別>	合計	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	5.0	30.0	32.5	27.5	5.0	50.6
中小スーパー	100%	5.6	20.4	29.6	33.3	11.1	44.0
米穀専門店	100%	0.0	7.1	37.5	30.4	25.0	31.7
その他	100%	2.2	17.4	37.0	28.3	15.2	40.8
(外食産業向け)							
外食向け	100%	4.0	26.0	34.0	26.0	10.0	47.0
中食向け	100%	1.8	28.1	43.9	17.5	8.8	49.1
給食向け	100%	0.0	12.7	69.1	16.4	1.8	48.2

Q6：3か月先（令和4年6月頃）の見通し

<仕向先別>	合計	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	DI指数
(小売店向け)		%	%	%	%	%	
大手スーパー	100%	2.5	27.5	62.5	7.5	0.0	56.3
中小スーパー	100%	1.9	18.5	51.9	25.9	1.9	48.1
米穀専門店	100%	0.0	16.1	53.6	21.4	8.9	44.2
その他	100%	0.0	28.3	50.0	17.4	4.3	50.5
(外食産業向け)							
外食向け	100%	6.0	42.0	44.0	8.0	0.0	61.5
中食向け	100%	3.4	37.9	48.3	8.6	1.7	58.2
給食向け	100%	0.0	14.5	81.8	1.8	1.8	52.3

*DI（diffusion index）の算出方法：内閣府で発表している「景気ウォッチャー調査」方式を採用した。具体的には、5つの回答選択肢に均等に0～1の評価点を与え、各回答の構成比に対応するそれぞれの評価点を乗じ、それらの合計を指数(%ポイント)としてDI値を算出。それが50の場合は横ばい(現状維持)を示す。0に近づくほど販売が低迷傾向にあることを示し、逆に100に近づくほど販売が好調傾向であることを示す。

(算出例)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
評価点 A	1	0.75	0.5	0.25	0
結果(構成比) B	17.8	20.0	20.0	22.2	20
各DI値 C=A×B	17.8	15	10	5.6	0
DI値(合計)	48.4→米販売の動きはほんの少し低迷傾向				